

POT 法による分子疫学解析を利用した医療関連感染菌の院内伝搬制御について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）・基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ（ESBL）カルバペマーゼ産生菌（MDRP、CRE）等による薬剤耐性菌および医療関連感染症を引き起こす *Clostridioides difficile*（クロストリディオイデス ディフィシル菌）による院内感染発生時に、POT 法による分子疫学解析から院内伝播を評価し、院内感染防止のための手指衛生対策との関連を検証することを目的とします。

※ POT 法とは、院内感染対策が必要な薬剤耐性菌における各菌株の遺伝子を検査し、タイピング別に分類する疫学調査の解析手法の一つ

【対象】

MRSA、ESBL、MDRP、CRE 等による薬剤耐性菌および *Clostridioides difficile* による院内感染発生時の菌と、感染者ならびに周辺患者

【情報の利用目的及び利用方法】

匿名化されたデータベース上の細菌検査情報、POT 法による解析、感染者ならびに周辺患者さんの情報、病棟における手指衛生状況を解析します。

【調査項目】

院内感染に関連した各種薬剤耐性菌（MRSA、ESBL、MDRP、CRE）および医療関連感染症を引き起こす *Clostridioides difficile* の 1 病棟あたりの出現頻度、手指衛生実施状況など

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2023 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【利用する者の範囲】

臨床検査技師

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 中央検査部 横谷 まなみ

【研究期間】

実施許可日から 2026 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

横谷 まなみ

関西労災病院 中央検査部

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）